

平成21年1月19日（月）
市役所3階第3会議室

第9回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会

傍聴者用資料

平成21年1月19日(月)
市役所3階 第3会議室

第9回国立市南部地域整備基本計画の策定に伴う市民討議会実行委員会

1. 市民討議会の準備について

(1) プログラムの検討について

2. その他

(1) 第10回実行委員会について

参加のお願いする封筒が
届きましたら、ぜひ参加し
てください。
あなたの声をぜひお聞か
せください。

南の風トーク ～くにたち市民討議会～

市民討議会は、ま
ちづくりへの市
民参加の場です。

日時

平成21年2月21日(土) 22日(日)

会場

両日とも午前9時30分から午後5時まで
くにたち南市民フラザ(国立市泉2-3-2)
都営泉2丁目アパート1号棟1階

主催

国立市

協力

社団法人立川青年会議所

運営

市民討議会実行委員会

「南の風トーク～くにたち市民討議会～」とは

- 平成19年度から取り組んでいる国立市南部地域整備基本計画の策定に伴い、市民の皆さんのまちづくりの参加の場として、意見や提案などをお聞きするものです。
- 無作為で抽出された市民の方のうち、参加を希望する方がテーマに沿って話し合ってください。参加者を無作為で抽出することにより、これまで行政に声を届ける機会の少なかった方、世代や職業の異なる幅広い意見をお聞きできると言われています。
- テーマごとに専門家などからテーマに関わる情報の提供を受けた後に、グループに分かれて話し合いを行います。したがって、話し合いの前に必要な情報提供を行いますので、どなたでも安心して参加できます。
- グループ内での話し合いにより、意見を抽出し、合意形成を図り集約して提案などとしてまとめていきます。

傍聴はできるの

- 傍聴することはできますので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

「南の風トーク～くにたち市民討議会～」の流れ

住民基本台帳から無作為抽出した1,000名の方に、「参加依頼書」をお送りします。

「参加依頼書」が届きましたら、参加いただける方は「参加申込書」をご返送ください。

50名前後の参加者を決定します。
(参加希望の方が多数の場合は抽選で決定します。)

「南の風トーク～くにたち市民討議会～」開催

平成21年2月21日(土)・22日(日) 両日とも午前9時30分～午後5時まで

討議会の内容は、実行委員会で報告書としてとりまとめて市へ提出します。

市では、提出された報告書を南部地域整備基本計画の策定に参考とさせていただきます。

時間	内容	司会	担当者・情報提供者	詳細・実行委員の動き	運営の動き	詳細
8:00	現地着				会場の準備	看板取り付け 受付準備 受付表・参加者・傍聴者・JC登録用紙・ 資料配布 事前アンケート 資料
	準備開始		運営担当			
9:00	受付開始		運営担当・当日スタッフ			
9:25		開会5分前となりました。会場にお入り戴き、携帯電話をマナーモードにして頂くか、電源をお切りください。			会場誘導	
9:30	市長挨拶及び開会宣言	これより関口市長より開会の挨拶及び開会宣言を戴きたいと思ひます。				
9:35	趣旨説明	これより趣旨説明を行います。国上市南部地域整備基本計画策定に伴う市民討議会実行委員会、委員長小林正嗣。	小林委員長			
9:40	討議の進め方	討議の進め方として市民討議会推進ネットワーク、事務局長小針憲一氏よりお話を戴きたいと思ひます。	小針委員		マイク準備(質問用)	
9:55	質問受付	それでは質問を受け付けたいと思ひます。質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。 (他に)ないようでしたら、事前アンケートがございますのでご記入のほどよろしく御願ひ致します。				
10:00	事前アンケート	ではアンケートを回収させて頂きたいと思ひます。各グループでまとめて戴きたいと思ひます。			アンケート回収	
10:05	情報提供 「南部地域の魅力について」	それでは「南部地域の魅力について」の情報提供をして頂きたいと思ひます。				
10:25	討議 目安：意見の出し合い(25分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)	それでは討議に移りたいと思ひます。よろしく御願ひ致します。		討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
11:10	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
11:30	投票及びお昼休み				11:20頃から食事準備	
12:30	情報提供 「南部地域の課題」				容器回収	
13:00	討議 目安：意見の出し合い(30分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)			討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
13:50	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
14:10	投票及び中休み					
15:00	情報提供 「南部地域を広く知ってもらうにはどうしたらよいか」					
15:30	討議 目安：意見の出し合い(30分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)			討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
16:20	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
16:40	投票・休憩					
16:50	明日の説明・解散				誘導 片付け 明日の準備 解散	

時間	内容	司会	担当者・情報提供者	詳細・実行委員の動き	運営の動き	詳細
8:00	現地着 準備開始				会場の準備	看板取り付け 受付準備 受付表・参加者・傍聴者・JC登録用紙・ 資料配布 ハンドブック 事前アンケート 資料
9:00	受付開始		運営担当 運営担当・当日スタッフ			
9:25		開会5分前となりました。会場にお入り戴き、携帯電話をマナーモードにして頂くか、電源をお切りください。			会場誘導	
9:30	趣旨説明	これより趣旨説明を行います。国立市南部地域整備基本計画策定に伴う市民討議会実行委員会、委員長小林正嗣。	小林委員長			
9:40	情報提供 「南部地域を住みやすくするにはどうしたら良いか」	それでは「南部地域の魅力について」の情報提供をして頂きたいと思います。				
10:10	討議 目安：意見の出し合い(30分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)	それでは討議に移りたいと思います。よろしく御願致します。		討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
11:10	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
11:30	投票及びお昼休み				11:20頃から食事準備	
12:30	情報提供 「南部地域を豊かにするにはどうしたら良いか」				容器回収	
13:00	討議 目安：意見の出し合い(30分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)			討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
14:00	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
14:20	投票及び中休み					
14:40	情報提供 「『南部地域を住みやすく豊かにする』を実現するためにはどうしたら良いか」					
15:10	討議 目安：意見の出し合い(30分) 意見の集約(20分) 書き込み(10分)			討議中は各グループの見回り	討議中は各グループの見回り	
16:10	小グループ発表 (各グループ3分程度)				発表準備 書き終えた所から貼り出し マイク準備	
16:30	投票・休憩					
16:40	今後の説明・終了後アンケート				誘導 片付け	
16:50	お知らせ・解散 閉会宣言	長時間にわたる討議、大変お疲れ様でございました。閉会宣言に移りたいと思います。 閉会宣言、国立市南部地域整備基本計画策定に伴う市民討議会実行委員会、副委員長長家坂平人			明日の準備 解散	

国立市民討議会役割分担表

場所	分担	担当者	備考
	統括責任者	小林委員長	
誘導			
受付	受付責任者 参加者対応 傍聴(一般)対応 傍聴(JC・その他)対応 報道関係者対応 会場誘導 会計・謝礼・領収書	田中副委員長 佐野委員・三宮委員 佐野委員 田邊委員・谷合委員 米田委員	
会場	運営責任者 挨拶・説明 スケジュール進行 発表補助 動画記録 写真撮影 総評・謝辞 昼食・茶菓 傍聴者対応	宇都木幹事 実行委員会 岡部委員 ? 工藤委員 市長又は部長 堀越委員・松井委員	

事業計画予算書

議案番号	0812S-C01K
担当委員会	まちづくり政策委員会

議案名 国立市南部地域整備基本計画策定に伴う市民討議会実行委員会への分担金拠出

	科 目	予算額	摘 要		
収 入	A 事業費収入	150,000			
	A-1 例会費収入				
	A-2 委員会事業費収入	150,000			
	B 登録料収入				
	C 協賛金収入				
	D 雑収入				
	E 補助金等収入				
	F 寄付金収入				
	合 計	150,000			
支 出	① 会場設営費支出				
	② 企画・演出費支出				
	③ 講師関係費支出				
	④ 広報費支出				
	⑤ 資料作成費支出				
	⑥ 報告書作成費支出				
	⑦ 渉外費支出				
	⑧ 旅費交通費支出				
	⑨ 参加記念品代支出				
	⑩ 保険料支出				
	⑪ 通信費支出				
	⑫ 雑費支出				
	⑬ 分担金支出	150,000	*1		
	⑭ 予備費支出				
	合 計	150,000			
		委員会事業予算	1,182,000	例会予算	225,000
		消化金額	0	消化金額	0
備	*1.会場内横看板、会場外縦看板作成等¥20,500討議参加市民昼食(二日間)@800×50人×2日=¥80,000雑費¥9,500保育士手当て@10,000×2名×2日=¥40,000				



「ご近所のチカラ、求ム。」 プログラム

2007年5月27日

主催：社団法人立川青年会議所 きづく・たちかわ委員会

後援：立川市

氏名	討議グループ	
	午前	
	午後	

ご挨拶

社団法人立川青年会議所
きづく・たちかわ委員会 委員長 金子 幹広

本日はご多忙の中「wellvoice たちかわ市民討議会」にご参加いただき、ありがとうございます。
(社)立川青年会議所きづく・たちかわ委員会では、都内の各青年会議所と連携し、多様な人々によって熟慮された声を社会に向けて提示する、新たな市民参画手法として「市民討議会」を地域にむけて提唱していくこととなりました。

皆様が楽しく、かつ有意義な時間を過ごせるよう、プログラムにはさまざまな工夫を凝らしました。
新しい試みであり、不慣れから至らぬ点も多々あるかとは思いますが、どうぞ最後までおつきあいくださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

市民討議会とは

住民基本台帳などから無作為に選んだ市民に「ある問題」に関する客観的な情報提供を行い、さらに5人程度のグループで議論した後に意見の抽出と投票を行い、その結果を一般市民の意見として行政に提出・公表していくものです。従来の公募型市民会議やパブリックコメントなどの仕組みでは拾い上げられなかった「サイレント・マジョリティ（声なき多数派）」の意見を聞くしくみとして、また従来の世論調査では得られなかった「よく考えられた」意見を聞く新しいスタイルとして、全国各地で注目されています。

従来の公募型市民会議

結果的に一部の人々・団体の声しか
得られない



世論調査

無作為抽出であるが、人々がよく
考えた声ではない



市民討議会

無作為抽出によって選ばれた人々が、
行政や利益団体の声を聞いた上で議
論を行い、意見を形成する。一般市
民によって熟慮された声を得ること
ができる



市民討議会の結論の出し方 (写真はイメージです)



STEP 1

講師（情報提供者）から情報と知識を得ます。



STEP 2

小グループに分かれて討議を行います。



STEP 3

各グループより意見の発表を行います。



STEP 4

全体での投票により、意見の傾向を把握します。

小テーマについて繰り返し、後日報告を作成します。

市民討議会のねらい・活用について

本日の「wellvoice たちかわ市民討議会」で皆様にディスカッションいただいた結果をもとに、市民の声として報告書を作成の上で各方面に配布し、行政、メディア、そして地域の皆様にその「声」を届けていきます。

市民討議会のルール概略

■全体のルール

- 1 会場ならびに施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に指定の喫煙コーナーにてお願いいたします。
- 2 情報提供や討議の間は、携帯電話やメールのご利用はご遠慮ください。
- 3 討議中のパソコン使用や個人による録音、カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮ください。
- 4 昼食ならびに討議中のお飲物等はこちらでご用意いたします。
- 5 このハンドブックは回収しませんので、余白等ご自由にご利用ください。
- 6 お互いは「さん」づけでお呼びください。

■グループ討議のルール

- 1 討議されるみなさんが気軽に話しやすい雰囲気を作るため、討議者・情報提供者および運営スタッフをのぞき、原則として討議中の入室を制限します（ただし、主催者側の判断により関係者やメディアの方々が入室することがあります）。
- 2 報告・提言資料作成ならびに次回以降開催におけるPR等のため、運営スタッフが討議の風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
- 3 小グループにおけるリーダーは参加される皆様一人ひとりです。積極的な発言をお待ちしております。なお他の意見に対する批判を超えるような誹謗中傷はおやめいただきますよう、お願いいたします。
- 4 皆様がディスカッションしやすい環境をつくることを第一に考えております。何かお困りの点がありましたら、近くのスタッフまでお申し付けください。

【本日のテーマ】

ご近所のチカラ、求ム。 —コミュニティを盛りあげろ—

今回の市民討議会のテーマは「駅前デッキと路上演奏・パフォーマンス」です。

防犯、防災、子育て、環境 ... 地域をとりまくいろいろな問題。

私たちの暮らすまちには、こうした課題に取り組む身近な「コミュニティ」があります。自治会、NPO、サークルなど形はさまざま。でも「より良いまちに」との思いはみな同じです。

しかし、加入率の低下・高齢化に悩む自治会、スタッフが不足し活動場所の確保にも苦しむ NPO、メンバーの固定化や活動のマンネリ化に悩む各種団体 ...。「地域の再生」が叫ばれていながら、多くの地域コミュニティが、実際には活動の現状や将来の見通しに頭を抱えています。地域の課題に関心がある人は決して少なくないのに、なかなか人が集まってこないのはなぜでしょうか？

それに地域をよくするのは、やはりそこに暮らす人たちひとりひとりの「チカラ」。こんな現状にカツを入れ、ひとりでも多くの市民が関心をもって加わる「活きのいいコミュニティ」をつくるにはどのような手があるのでしょうか？

専門家や実際に地域活動に携わる市民の方からの情報提供を交え、地域に関心がある人、ない人、そしてほどほどの人、ランダムに集まった「フツウの市民」どうし、意見を交えてみてはどうかと考え、今回のテーマとした次第です。

■小グループ討議

グループでご自由に話し合い、4 つ以内にまとめてください。机上の付箋はご自由にお使いください。

■発表と投票

各グループの代表者から、グループ討議より集約された意見を発表してください。

最後に、全体で投票を行います。一人あたり 5 票が割り当てられます。また、他グループから出されたの意見にも投票できます。

多くの票を得たアイデアほど、多数の人々の共感を得られた意見として提示されます。

DISCUSSION 1

いま、地域をとりまく課題について

防犯、防災、教育、福祉、環境、お祭りなどのイベント…日々の暮らしや人との関わりの中、いろいろな問題やテーマがあると思います。皆さんの地域やでは、いま、どのような取り組むべき課題や興味をもつテーマがあるでしょうか？

DISCUSSION 2

コミュニティ活動が直面する問題

市内には自治会や NPO、社会教育団体、サークルなど、さまざまな形のコミュニティがあり、それぞれが関心をもつ課題に活動を行っています。しかし「地域の再生」に対する市民のニーズは高いにもかかわらず、現実には加入率の伸び悩み、運営スタッフ・活動場所の不足など、「活発化どころか、維持するので精一杯だよ …」という声が聞こえるコミュニティは少なくないと思います。

このように、地域のコミュニティの活性化が思うように進まない理由について、実際にコミュニティに関わっている「内側」の人、若者、マンションなどの新住民、サラリーマン家族など、「外側」の人それぞれの観点からどのようなことが考えられるでしょうか？

DISCUSSION 3

コミュニティの活性化に向けた妙案とは？

世代、性別、職業、このまちに暮らしてきた期間… 地域に暮らす人々のバックグラウンドはバラエティに富んでいます。こうした多彩な顔ぶれや意見が交わる「生き」のいいコミュニティを形づくるには、どのような「妙案」があるでしょうか？

情報提供者

菊池 美代志氏 帝京大学文学部教授

井上 隆一氏 立川市 市民活動課 市民活動係 係長

宮本 直樹氏 市内在住市民・会社員（市民活動センターたちかわ 運営委員）

浅見 知明氏 立川市 企画政策課 主査

資料ご提供

立川市 市民活動課

同 企画政策課

タイムスケジュール

10:00	開会 ご挨拶・ご説明
	DISCUSSION 1 討議
	いま、地域をとりまく 課題について 発表・投票
11:00	情報提供 帝京大学教授 菊池 美代志氏 立川市市民活動課 井上 隆一氏 補足説明
	DISCUSSION 2 討議
12:00	コミュニティ活動が 直面する問題
	発表・投票
13:00	昼食・休憩
	情報提供 たちかわ市民 宮本 直樹氏
14:00	DISCUSSION 3 討議
	コミュニティの活性化に向けた妙案とは？
15:00	発表・投票
	アンケート 総評・謝辞
16:00	閉会
17:00	

— MEMO —

実行委員会の日程について（市民討議会開催前まで）

実行委員会候補日

1月23日（金）

1月30日（金）

1月26日（月）

1月27日（火）

1月28日（水）

2月 2日（月）

2月 9日（月）

2月16日（月）

2月 3日（火）

2月10日（火）

2月18日（水）

2月 4日（水）

2月12日（木）

2月18日（水）

2月 6日（金）

2月13日（金）